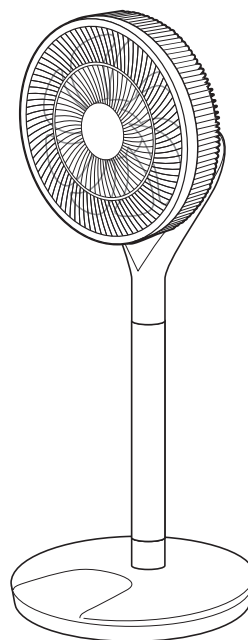


DCリビング扇風機

品番: **EA-S30DC**

取扱説明書

■ 安全上のご注意	2
■ 各部のなまえ	5
■ 付属品	6
■ ご使用前の準備	7
リモコンの準備	7
組み立てかた	8
■ 使いかた	12
操作のしかた	12
■ お手入れのしかた	17
廃棄について	17
■ 保管のしかた	19
■ 困ったときは	19
■ おもな仕様	20
■ 長期使用製品安全表示制度に基づく 本体表示について	21
■ 保証書	22
保証規定	23
■ アフターサービス	24



はじめにお読みください


このたびは弊社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
 ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、内容を十分理解されたうえで、正しくご使用ください。
 お読みになったあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。


安全上のご注意

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に大切に保管してください。




絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。





 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
---	--

 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
---	--

絵表示の例




	注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。		行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
---	------------------------------	---	---------------------	---	-------------------------

一般的な注意事項

 警告	
 電源プラグを抜く	<p>異常・故障時には直ちに使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転中に時々止まる。 ・触れるとビリビリと電気を感じる。 ・電源プラグや電源コードが異常に熱い。 ・電源プラグや電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ・異臭や異音がする。 ・煙が出ている。 ・本体が変形したり、異常に熱くなる。 <p>火災・感電の原因になります。 このようなときはすぐに電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または弊社お客様サポートセンターに修理をご依頼ください。修理技術者以外の人による修理は危険ですので絶対におやめください。</p>
 分解禁止	<p>機器の分解・修理・改造はしない</p> <p>火災・感電の原因になります。内部の点検・修理は販売店または弊社お客様サポートセンターにご依頼ください。</p>
 電源プラグを抜く	<p>万一、本製品を落としたり破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社お客様サポートセンターに連絡する</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p>

 注意	
 禁止	<p>本書に記載以外の用途や方法で使用しない</p> <p>けがや事故の原因になります。</p>
 禁止	<p>業務用として使用しない</p> <p>本製品は一般家庭における使用を想定した製品です。業務用途では絶対に使用しないでください。</p>
 禁止	<p>屋外や直射日光が当たる場所で使用しない</p> <p>火災の原因になります。</p>





電源・電源コード・電源プラグについて

 警告	
 禁止	<p>電源プラグ・電源コードを加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、キズつけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない</p> <p>火災・感電・故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>表示された電源電圧、交流 100V 以外の電圧で使用しない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>


安全上のご注意 (つづき)











電源・電源コード・電源プラグについて (つづき)

⚠ 警告	
 必ず守る	電源プラグは定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する たこ足配線をするとうコンセント部分が異常過熱して火災・感電の原因になります。
 禁止	延長コードなどを使用しない 火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 火災・感電の原因になります。
 使用禁止	電源プラグ・電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線など)、販売店または弊社お客様サポートセンターに交換を依頼するそのまま使用すると火災・感電の原因になります。
 禁止	幼児に電源プラグをなめさせない 感電・けがの原因になります。

⚠ 注意	
 必ず守る	電源プラグは奥まで確実に差し込み、固定されていることを確認する 火災・感電の原因になります。
 必ず守る	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く 感電・故障の原因になります。
 電源プラグを抜く	長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災や発火の原因になります。
 必ず守る	電源プラグのホコリや汚れは、定期的に乾いた布で拭き取る ホコリなどが付着するとショート・火災の原因になります。




使用方法について











⚠ 警告	
 水ぬれ禁止	本体や電源プラグ、電源コードを水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 警告	
 水ぬれ禁止	水まわりや風呂場など水のかかる場所では絶対に使用しない 火災・感電の原因になります。
 禁止	羽根・前面ガードを取り付けずに運転しない けがの原因になります。
 禁止	前面・背面ガードの中や可動部に指や異物を入れない けが・感電・故障の原因になります。とくに小さなお子様にはご注意ください。
 禁止	本体に乗ったり寄りかかったりしない けがや感電の原因になります。
 禁止	子どもだけで使用したり、手の届く所で使用しない けがや事故の原因になります。
 禁止	子どもやお身体の不自由な方は付き添い無しで使用しない お様が使用するときには保護者の監督のもとに使用してください。お身体の不自由な方が使用するときには付き添いの方の介護のもとに使用してください。事故やけがの原因になります。
 禁止	ストーブなど発熱器具に風を向けて使用しない 故障・火災の原因になります。
 水ぬれ禁止	加湿器などの水蒸気や霧などを直接当てない 感電・故障の原因になります。
 必ず守る	本体は水平で安定した場所に設置する けが・故障・火災の原因になります。
 禁止	次のような場所で使用しない <ul style="list-style-type: none"> ・湿気の多い場所 ・引火性のもの (ガス・灯油・ガソリン・シンナー・有機溶剤など) のそば ・火の気のあるもの (たばこ・線香など) のそば ・可燃性のものそば ・風の流れを遮るような障害物 (カーテンなど) の周囲 火災・故障・感電などの原因になります。




安全上のご注意 (つづき)

使用方法について (つづき)




 警告	
 必ず守る	カーテンや巻き上げひもなどを巻き込まない場所に設置する 破損やけがの原因になります。
 禁止	布や紙、ビニール袋などで覆ったりふさいだりして運転しない 故障・ショート・感電の原因になります。






 注意	
 禁止	電源コードを束ねた状態で使用しない コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 禁止	タコ足配線はしない 火災の原因になります。
 禁止	ホコリや粉塵の多い場所で使用しない 火災の原因になります。
 禁止	スプレー (殺虫剤・整髪料・潤滑油など) をかけたり、薬品を使う場所で使用しない 樹脂部分が変形・劣化し、けが・故障・落下などの原因になります。
 禁止	風を直接身体に当てない 体調悪化や健康障害の原因になります。とくに小さなお子様やお年寄りにはご注意ください。
 禁止	動植物に直接風を当てない 体調や生育を害する原因になります。
 禁止	本体を落としたり、ぶつかけたりしない また、強い衝撃を与えない 故障や破損の原因になります。
 禁止	本体を引きずって移動しない 床などにキズがつく原因になります。
 電源プラグを抜く	本製品を持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 電源コードがキズつき、火災・感電の原因になります。

お手入れ・保管について

 注意	
 電源プラグを抜く	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなう 火災・感電の原因になります。
 使用禁止	お手入れの際、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤 (シンナー・ベンジンなど)、みがき粉、金属たわしなどは使用しない 変形・変色・キズなどの原因になります。

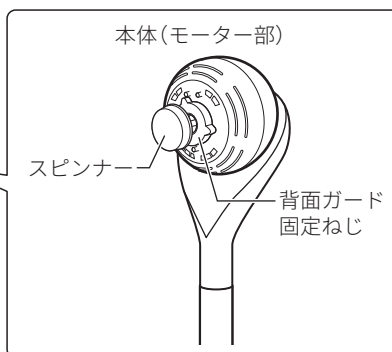
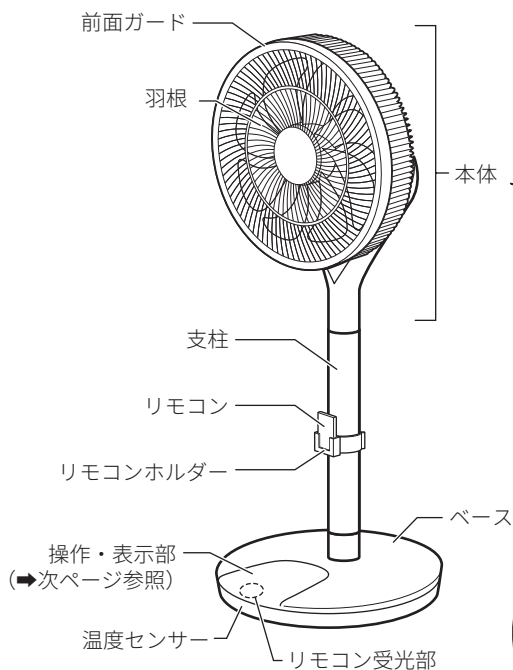
コイン形電池の取り扱いについて

 警告	
 必ず守る	幼児の手の届く所に置かない 誤飲の原因になります。万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
 必ず守る	電池の液漏れが発生した場合は手を触れない 失明や炎症の原因になります。皮膚に付着したときは、きれいな水でよく洗い流してください。万一目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い流したあと、直ちに医師にご相談ください。

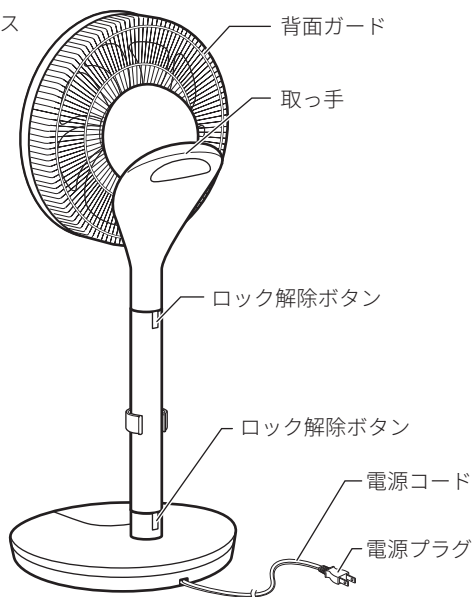
 注意	
 禁止	火の中に入れてたり、加熱したりしない また、分解しない 破裂や発熱、発火などによりけがの原因になります。
 禁止	金属製の小物類と一緒に携帯、保管をしない ショートして破裂や液漏れの原因になります。
 禁止	指定以外の電池を使用しない 破裂や発火、液漏れなどによる故障の原因になります。
 必ず守る	電池の極性 (⊕, ⊖) を間違えないよう、正しい向きで入れる 極性を間違えると破裂や発火、液漏れなどによる故障の原因になります。

各部のなまえ

【正面】

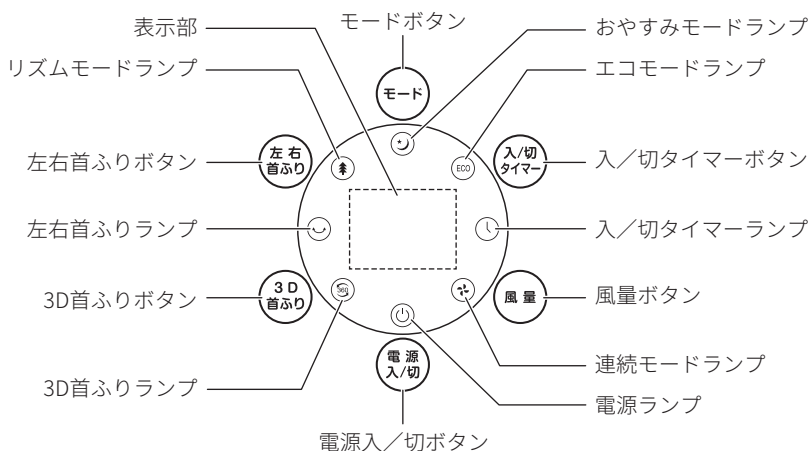


【背面】

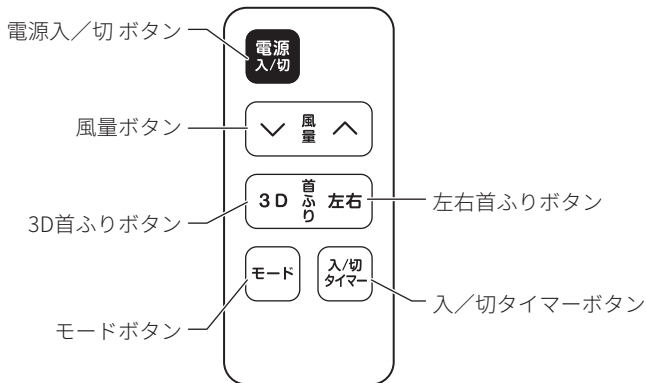


各部のなまえ (つづき)

操作・表示部


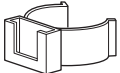


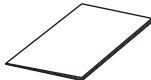


リモコン



付属品

以下の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

				
リモコン 【1個】	リモコンホルダー 【1個】	プラスドライバー 【1本】	ガード取り付けねじ 【1本】	取扱説明書/ 保証書 【1部】

※本書に記載のイラストは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

ご使用前の準備

リモコンの準備

リモコンにはあらかじめ電池が入っています。
ご使用前に絶縁フィルムを引き抜いてください。
※あらかじめセットされている電池は動作確認用です。

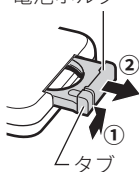


電池を交換するときは

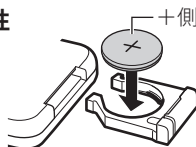
1 リモコンの電池ホルダーを引き出す

タブを内側に押さえながら電池ホルダーの切れ込みにツメを入れ、電池ホルダー全体を手前にスライドさせます。

電池ホルダー



2 コイン形電池の極性(⊕, ⊖)を間違えないようにして、電池ホルダーに入れる



使用電池 **CR2025**

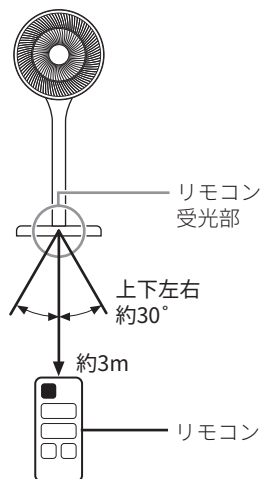
※ 電池を入れる際は電池の極性(⊕, ⊖)をよく確かめてください。(電池のプラス側には+の刻印があります。)

3 電池ホルダーをリモコンにしっかりと戻す

リモコンの受光範囲

- リモコンはベースのリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの受光範囲は、受光部より距離約3m、角度上下左右約30°以内です。

正面から見た図



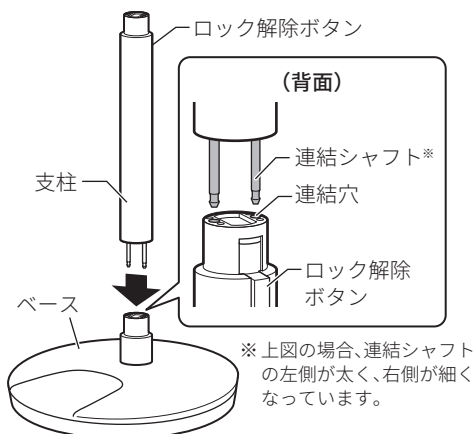
ご使用前の準備(つづき)

組み立てかた

1 支柱の連結シャフトをベースの連結穴に差し込む

「カチッ」というまで押し込んでください。

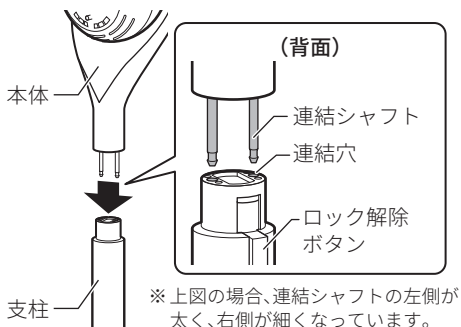
※ 支柱とベースのロック解除ボタンがともに背面側に来るようにしてください。向きが間違っていると差し込むことができません。



2 本体の連結シャフトを支柱の連結穴に差し込む

「カチッ」というまで押し込んでください。

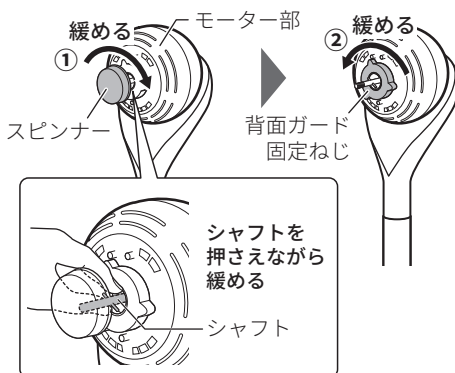
※ 向きが間違っていると差し込むことができません。向きにご注意ください。



3 本体のモーター部からスピナー、背面ガード固定ねじを取り外す

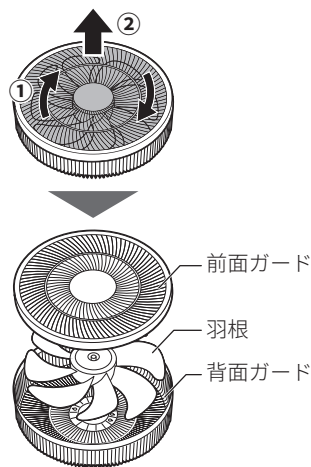
スピナー(①)、背面ガード固定ねじ(②)をそれぞれ矢印の方向に回して取り外します。

※ 回す方向がそれぞれ異なりますのでご注意ください。



4 前面ガード、背面ガードを分離し、羽根を取り出す

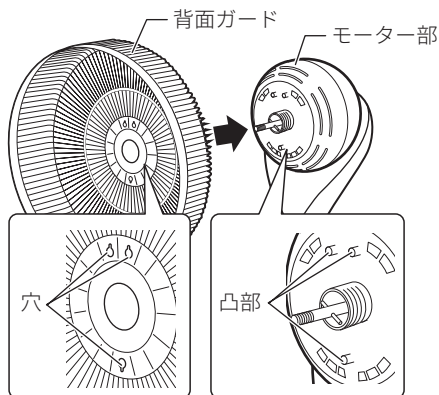
前面ガードを矢印の方向に回して取り外し、羽根を取り出します。



ご使用前の準備(つづき)

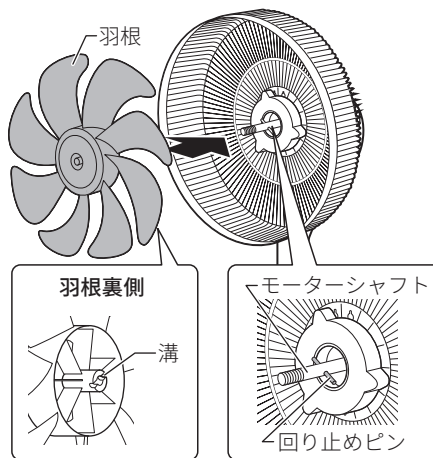
5 背面ガードをモーター部に取り付ける

背面ガードの3か所の穴とモーター部の凸部を合わせて差し込みます。



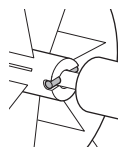
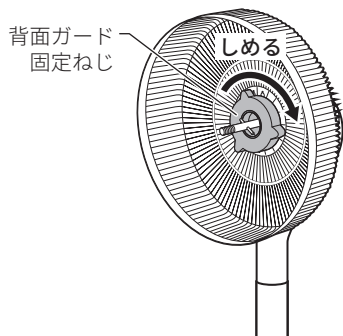
7 羽根をモーター部に差し込む

羽根裏側の溝とモーターシャフトの回り止めピンが合うようにして、しっかりと奥まで差し込みます。



6 背面ガードを固定する

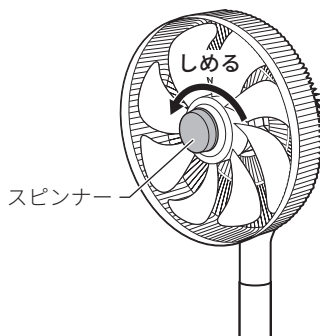
背面ガード固定ねじを矢印の方向に回し、背面ガードを固定します。



回り止めピンが羽根裏側の溝に確実に収まったことを確認してください。

8 羽根を固定する

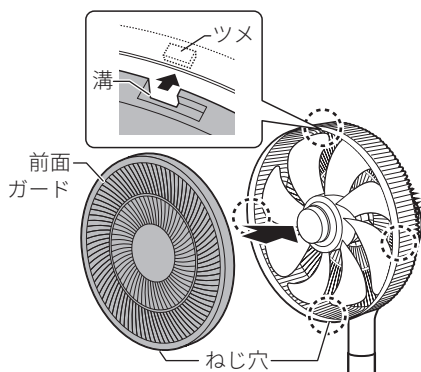
スピナーを矢印の方向(反時計回り)に回し、羽根を固定します。



ご使用前の準備(つづき)

9 前面ガードの4か所の溝とツメを合わせて差し込む

※ ねじ穴の位置が合うようにして差し込んでください。



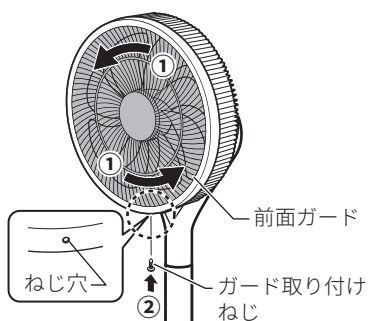
①ご注意

- 必ず各部品が確実に固定されたことを確認してください。きちんと取り付けられていない状態で運転をすると、けが・事故の原因になります。

10 前面ガードを固定する

前面ガードが止まるまで矢印の方向に回して確実に固定し(①)、ガード取り付けねじ1本をしっかりと締め付けます(②)。

※ 前面ガードを軽く引っ張り、4か所のツメで固定されたことを確認してから、ガード取り付けねじを締め付けてください。



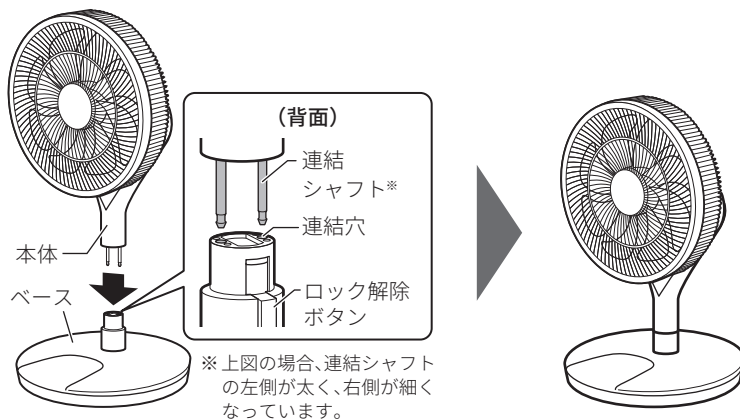
ご使用前の準備(つづき)

コンパクトに使用する

支柱を使用せず、本体をベースに直接差し込んで使用することもできます。

※組み立てかたは支柱と同様です。「組み立てかた」手順1(⇒8ページ)参照

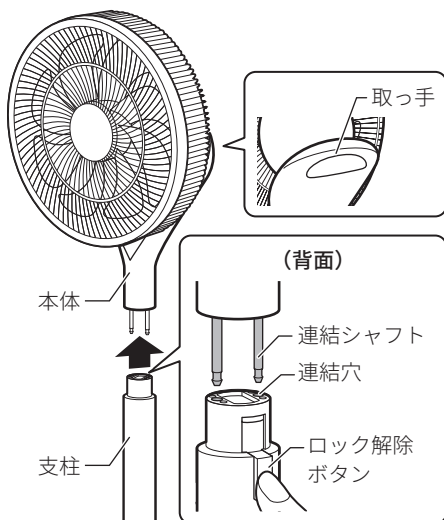
支柱・本体の取りはずしかたは下記「支柱・本体を取り外すとき」をご覧ください。



支柱・本体を取り外すとき

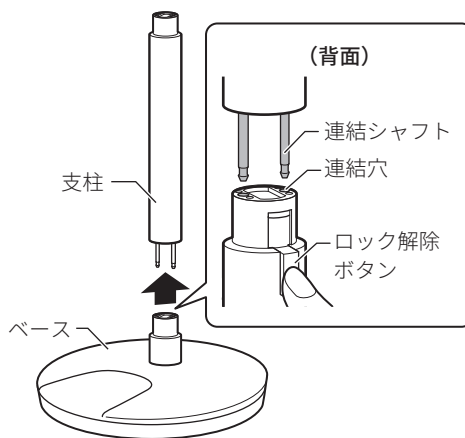
支柱から本体を引き抜く

支柱のロック解除ボタンを押しながら、本体の取っ手を持って真っ直ぐ引き抜きます。



ベースから支柱を引き抜く

ベースのロック解除ボタンを押しながら、支柱を真っ直ぐ引き抜きます。



使いかた

タッチセンサー式について

- ・ ベースの操作部はタッチセンサー式を採用しており、軽く触れるだけで操作できます。(強く押す必要はありません。)
- ・ 各ボタンを押すときは、必ず指の腹でタッチしてください。指先などでタッチすると反応しない場合があります。

操作のしかた

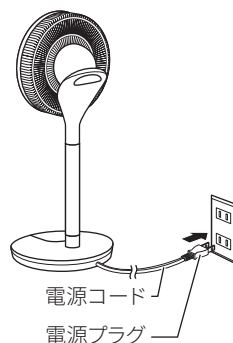
運転を開始する／停止する

1 電源プラグをコンセントに差し込む

「ピピッ」と音が鳴ります。

① ご注意

- ・ 電源は交流 100V のコンセントを単独で使用してください。火災・感電の原因になります。
- ・ 子どもだけで使わせたり、手が届く所で使用しないでください。感電・けがの原因になります。

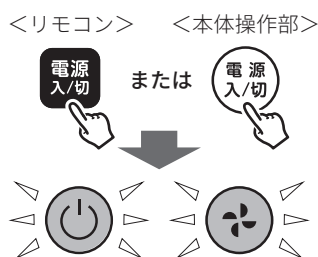


2 電源入／切ボタンを押し、運転を開始する

「ピッ」と音が鳴り、電源ランプと連続モードランプが同時に点灯して運転を開始します。

※ 電源を入れると前回使用時の設定で運転をおこないます。(タイマー設定は解除されます)

※ 電源プラグを抜いた場合は設定がリセットされ、風量:「01」、モード:「連続」で運転をおこないます。



3 お好みの運転を選ぶ

風量・運転モード・首ふり・タイマーをお好みで設定します。

(➡ 13～16 ページ参照)

4 運転を停止するには、電源入／切ボタンを押す

「ピッ」と音が鳴り、すべてのランプが消灯して運転が停止します。

使いかた(つづき)

おやすみモード

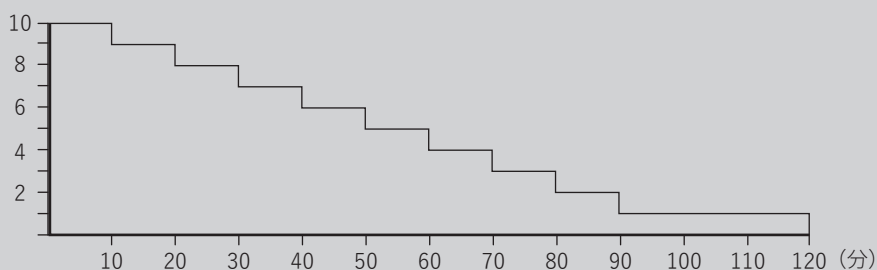
時間の経過と共に一段階ずつ風量パターンを弱くしていきます。
また、設定してから約2時間後に運転を自動で停止します。



- ※ 約10分経過するごとに風量が一段階下がります。
- ※ 最初に設定した風量によって、リズムのパターンが変わります。
- ※ おやすみモード中は、入/切タイマーの設定はできません。

●「おやすみモード」パターン図 例：風量10の場合

(風量)



エコモード

温度センサーで室温を検知し、自動で風量を切り替えます。

- ※ エコモード運転中に風量ボタンを押すと、連続モードに切り替わります。
- ※ 温度センサーには触れないでください。故障の原因になります。
- ※ 使用環境により動作しにくい場合があります。



使いかた(つづき)

風向きを調節する(左右首ふり・3D首ふり機能を使用する)

① ご注意

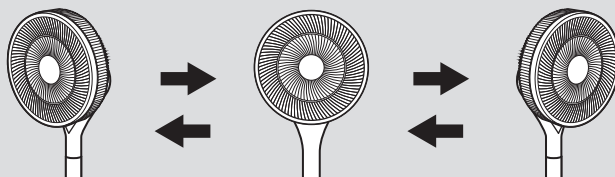
- ・本製品は、手で風向きを調節することはできません。左右首ふり・3D首ふり機能を利用して、角度を調節してください。

左右首ふり・3D首ふりのしかた

左右首ふり・3D首ふり時は、下図の様に回転します。

※左右首ふりの角度は約80°です。

左右首ふり



3D首ふり



1 運転中に、左右首ふりボタンまたは3D首ふりボタンを押す

押すと「ピッ」と音が鳴り、各表示ランプが点灯して左右首ふり・3D首ふりを開始します。

左右
首ふり

または

3D
首ふり

または

3D
首ふり
左右

※左右首ふりと3D首ふりを組み合わせて使用することもできます。

2 停止するには、再び左右首ふりボタンまたは3D首ふりボタンを押す

「ピッ」と音が鳴り、各表示ランプが消灯してボタンを押した時点の角度で停止します。

使いかた(つづき)

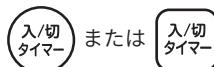
タイマー機能を使用する

本製品は、設定した時間が経過すると自動で運転を開始する「入タイマー」、設定した時間が経過すると自動で運転を停止して電源を切る「切タイマー」機能があります。

- ※ タイマー設定時は、タイマーランプが点灯し表示部に設定時間が表示されます。
- タイマー設定解除時は、タイマーランプと設定時間が消灯します。

入タイマーを使用する

電源「切」時に、入/切タイマーボタンを押す



押すたびに「ピッ」と音が鳴り、入タイマー設定が下図のように切り替わります。設定した時間が経過すると、自動で運転を開始します。

- ※ 入タイマーで運転を開始するときは、風量・モードなどは前回使用時の設定で運転をおこないます。

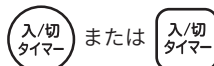
入タイマー

- 設定した時間が経過すると、自動で電源が「入」になり、運転を開始します。
- 入タイマーの設定時間は、0.5時間ごとに0.5～4時間まで設定できます。



切タイマーを使用する

電源「入」時に、入/切タイマーボタンを押す







押すたびに「ピッ」と音が鳴り、切タイマー設定が下図のように切り替わります。

切タイマー

- 表示時間経過後に、自動で運転が停止し、電源が「切」になります。
 - 切タイマーの設定時間は、0.5時間ごとに0.5～8時間まで設定できます。
- ※ おやすみモード使用時は切タイマー設定はできません。



お手入れのしかた

 警告	 水ぬれ 禁止	本体や電源プラグ、電源コードを水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電・火災・故障の原因になります。	 注意	 電源プラグを抜く	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなう 火災・感電の原因になります。
--	--	---	--	---	---

①ご注意

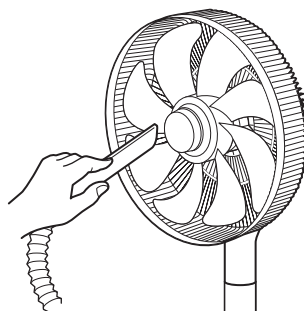
- ・ご使用後すぐはモーターが熱くなっている場合があります。お手入れは必ず本体が冷めていることを確認してからおこなってください。
- ・お手入れの際、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジンなど）、みがき粉、金属たわしなどは使用しないでください。変形・変色・キズなどの原因になります。
- ・左右首ふり・3D首ふり機能で調節した角度によっては、お手入れしづらかったり前面ガードが取り外せない場合があります。本体の角度を正面に戻してから、お手入れをおこなってください。
※本体の角度を手動で調節することはできません。
「風向きを調節する（左右首ふり・3D首ふり機能を使用する）」（➡ 15ページ参照）

本体外側のお手入れ

水を含ませ、固く絞ったやわらかい布で本体の汚れを拭き取ります。
汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、固く絞った布などで洗剤分を拭き取ってください。

前面ガード、背面ガード、羽根のお手入れ

前面ガード、背面ガード、羽根を取り外し、掃除機でホコリやゴミなどを取り除いてください。
（前面ガード、背面ガード、羽根の外しかたは次ページ参照）
ゴミが取りきれない箇所は、やわらかい布などで拭き取ってください。



廃棄について

本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の行政・自治体などの指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

お手入れのしかた(つづき)

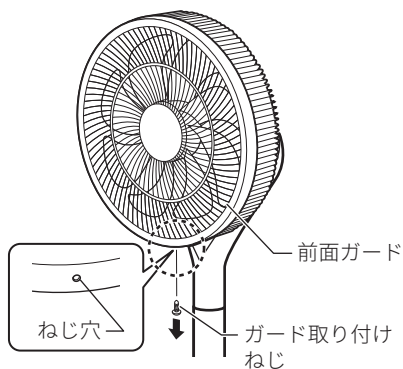
前面ガード、背面ガード、羽根の外しかた

①ご注意

・必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

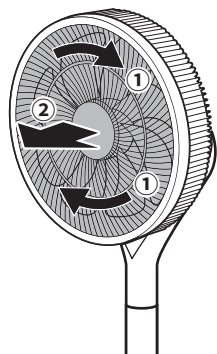
1 前面ガードのガード取り付けねじ1本を取り外す

- ※ 付属のプラスドライバーを使用し
て取り外してください。
- ※ 外したガード取り付けねじはな
くさないようご注意ください。



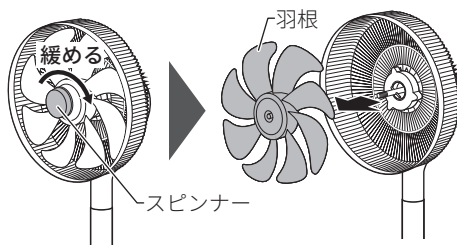
2 前面ガードを取り外す

前面ガードが止まるまで矢印の方向に
回し(①)、手前に引き出します(②)。



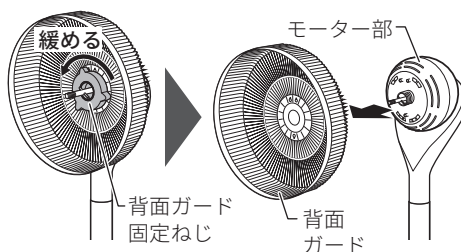
3 羽根を取り外す

スピナーを矢印の方向(時計回り)
に回して緩め、羽根を引き抜いて取り
外します。



4 背面ガードを取り外す

背面ガード固定ねじを矢印の方向に回
して緩め、背面ガードをモーター部
から取り外します。



組み立てかたは、「組み立てかた」手順5～
10(⇒9～10ページ参照)をご確認ください。

保管のしかた

①ご注意

- ・必ず電源プラグをコンセントから抜いて保管してください。
- ・電源コードを本体に巻きつけて収納しないでください。故障・断線の原因になります。

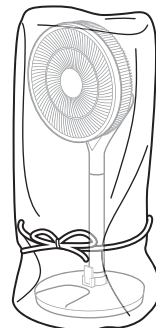
長期間使用しない場合の保管について

本体を覆うようにポリ袋などをかぶせ、ホコリが入らないようにひもなどで縛ります。

その後、直射日光の当たらない湿気の無い場所に保管してください。

リモコンの電池について

長期間ご使用にならない場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください。入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚損したり、破裂による発火や火災の原因になります。



困ったときは

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下表で確認してください。それでも症状が改善されない場合はお買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンター（➡ 24ページ）までお問い合わせください。

症状	考えられる原因	対処方法
ボタンを押しても 運転しない 羽根が回らない	<ul style="list-style-type: none">・電源プラグが抜けている。・電源プラグが抜けかかっている。・本体、支柱、ベースの連結部がしっかりと差し込まれていない。・羽根と前面ガードが当たっている。	<ul style="list-style-type: none">・電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。・「カチッ」というまでしっかりと差し込み、きちんと組み立ててください。・羽根、前面ガードを確実に取り付けてください。
風が弱い	<ul style="list-style-type: none">・風量が正しく設定されていない。・ホコリが溜まっている。	<ul style="list-style-type: none">・風量ボタンを押して調節してください。・お手入れをしてホコリを取り除いてください。
運転音大きい	<ul style="list-style-type: none">・設置場所が悪く、がたついている。・羽根、前面ガード、背面ガードが正しく取り付けしていない。	<ul style="list-style-type: none">・障害物の無い水平な床に置いてください。・羽根、前面ガード、背面ガードを正しく取り付けてください。

困ったときは(つづき)

症状	考えられる原因	対処方法
異音がする	<ul style="list-style-type: none"> 羽根、前面ガード、背面ガードが正しく取り付けしていない。 左右首ふり・3D首ふり時にモーター特有の音が大きくなる場合がありますが、異常ではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 羽根、前面ガード、背面ガードを正しく取り付けてください。
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗している。 電池の向き(極性)を間違えている。 絶縁フィルムを抜いていない。 リモコン受光部とリモコンの間に障害物がある。 リモコンの受光範囲を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい電池と交換してください。 ※あらかじめセットされている電池は動作確認用です。 電池を正しい向きにセットしてください。 絶縁フィルムを抜いてください。 障害物を取り除いてください。 本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。受光範囲は、受光部より距離約3m、角度は上下左右約30°以内です。

おもな仕様

品名	DCリビング扇風機	
品番	EA-S30DC	
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	50Hz	22W
	60Hz	22W
風速	約 4.95m/min (風量最大時)	
風量	約 25.6m ³ /min (風量最大時)	
風量切り替え	12段階	
電源コード長	約 1.4m	
外形寸法	約 345 (W) × 320 (D) × 885 (H) mm	
質量	約 3.1kg	
付属品	リモコン(動作確認用コイン形電池：CR2025含む)、リモコンホルダー、ガード取り付けねじ、プラスドライバー、取扱説明書/保証書	
製造国	中国	

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
 ※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

長年ご使用の製品は、熱、湿気、ホコリなどの影響により内部部品が劣化し発煙、発火のおそれがあります。

ご使用中に次のような症状がみられる場合は、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

長年ご利用の DC リビング扇風機の点検を！

<p>こんな症状はありませんか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れても運転しない。 ● 羽根の回転速度が不規則である。 ● モーター部が異常に熱い、焦げ臭い。 ● 異音がする。 ● 電源プラグや電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ● その他の異常・故障がある。 	<p>ご使用中止！！</p> <p>故障や事故防止のため電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。</p>
----------------------	--	--

● 本体への表示内容

※経年変化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体におこなっています。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

製品本体に表示されている、【設計上の標準使用期間】は、標準的な使用条件の下で正しく取り扱い、維持管理がおこなわれた際に、安全上の支障がなく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間であり、無償保証期間とは異なります。

(例)

【製造年】 XXXX 年
【設計上の標準使用期間】 X 年



設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがの事故に至るおそれがあります。

※使用頻度、環境、設置場所などが標準的な使用条件でない場合や、業務用など、本来の目的以外の方法で使用された場合は、記載の【設計上の標準使用期間】よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。

- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

標準使用条件

環境条件	電圧	単相 100V
	周波数	50Hz および 60Hz
	温度	30°C
	湿度	65%
	設置条件	標準設置*
負荷条件		定格負荷(風速)*
想定時間など	1日あたりの使用時間	8 (h/日)
	1日の使用回数	5 (回/日)
	1年間の使用日数	110 (日/年)
	スイッチ操作回数	550 (回/年)
	首振り運転の割合	100 (%)

設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

* 取扱説明書による

保証書

品名	DCリビング扇風機	品番	EA-S30DC
	お名前		様
お客様	ご住所 〒□□□-□□□□		
	お電話		
お買い上げ日	20□□年□□月□□日		
保証期間	お買い上げ日から 本体1年間		
販売店	店名		
	住所		
	電話		

保証書(つづき)

保証規定

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証書に記載の「保証期間」中に故障が発生した場合は、本製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。所定記入欄が空白のままですと、本書は有効になりません。記入の無い場合は直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。

- お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

1. 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、弊社が無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理依頼ができない場合には、取扱説明書に記載してあります弊社お客様サポートセンターにご相談ください。
3. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の転倒、取り付け場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示が無い場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ト) 譲渡、転売、中古販売、オークションなどにて入手された場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は本書で明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- **本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償は致しかねます。**

アフターサービス

- 万一、本体を落としたり、破損した場合は、点検修理を依頼してください。(有料)
- 本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。
- 本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償は致しかねます。

保証書

本製品には保証書が付いています。保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただいたあと、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理を依頼するとき

保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に従って無料修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合

アフターサービスについてご不明の場合には、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- お問い合わせの際は「製品名」・「品番」・「症状」をご確認のうえ、お伝えください。

製品に関するお問い合わせは

株式会社アズマ
お客様サポートセンター フリーダイヤル **0120-00-8984**

受付時間 午前10時～午後5時(土・日・祝祭日および弊社指定休業日を除く)

- ・ 本書に記載された内容の一部または全部を弊社に無断で転載・改変・複写・複製することを禁じます。
- ・ 改良のため、製品の仕様や外観、および本書の内容を予告なく変更することがあります。